



鍾秀だより

南陽市立宮内小学校
南陽市宮内 3415 番地
電話 47-2106
校長 吉水 順一

非日常体験を味わった自然体験学習（5年生）

6月26日・27日の一泊二日で、5年生が飯豊少年自然の家の自然体験学習に行ってきました。梅雨の真っただ中で、「雨が降らないかな。」「猛暑続きで熱中症にならないか。」などと心配しておりましたが、当日は雨が若干降ったものの、ほぼ予定どおり実施することができました。

出会いの集いで所長さんの話や野外炊飯の説明に真剣に耳を傾け「しっかり聞こう」という気持ちが表っていました。一日目の昼食は野外炊飯でカレー作り、不便な中での活動で、予定より時間がかかりましたが、どの班もおいしいカレーに仕上げていました。

午後からは、トーチ棒を作ったり、テント設営をしたりとほぼ予定時間どおりに終え、19時からキャンプファイヤーを行いました。

二日目は、「カートンドッグ」をつくって朝食をとった後、テントを撤収し、9時40分から追跡ハイキングに出発しました。ハイキングでは、通ったことのない山道を、地図とポイントを手掛かりに仲間と話し合いながら安全に歩くことができました。途中、道に迷ったり、虫に遭遇したりということがありましたが、全員無事にゴールすることができました。

別れの集いでは、非日常の生活を仲間とやり切った達成感からか、きりっと引き締まった顔になり、大きく成長した様子が伺われました。

この体験を日常の生活に生かして、「経験」に昇華できるよう日々の教育活動で力を付けていきたいと考えています。5年生、よく頑張りました。



漆山小6年生と交流学習

6月27日（金）、来年度中学校で一緒に生活する漆山小学校6年生16名と交流学習を行いました。4校時目にアイスブレイクと外国語の学習を行い、一緒に給食を食べました。同じ教室で、一緒に生活できることは有意義でした。これからも交流活動を企画し、仲間づくりを進めています。

11日は授業参観・学級懇談会です



7月11日（金）に授業参観と学級懇談会を行います。1学期の子どもたちの成長の様子をご参観いただきますようよろしくお願ひいたします。また、授業参観後に学級懇談会を行います。同じ教室で学習している子どもの保護者の皆様同士が交流や担任の考え方などを共有することで、よりよい学級づくりに生かしていきたいと考えていますので、ご参加くださるようよろしくお願ひいたします。また、駐車場（校舎東側駐車場・ふれあいの丘・旧宮内公民館）に限りがありますので、極力車での来校はご遠慮ください。

路上への違法駐車や個人敷地内への無断駐車はご遠慮ください。

金山・吉野たんけん（2年生）

7月1日（火）に、2年生が「金山・吉野たんけん」に出かけました。金山公民館では、小林繁治館長様より「金山のじまん」について話をさせていただきました。その後、バスの車窓から「鬼面石」を見学し、小滝の「くぐり滝」に向かいました。「くぐり滝」では、川井榮助様から、「くぐり滝」の成り立ちや規模について説明していました。景観はもちろんですが、水の流れでくりぬかれた岩を見て子どもたちは大変驚いていました。



なかよし班での清掃活動

1年生から6年生の縦割り班で編成する、なかよし班での清掃活動を6月から行っています。昨年度までは、学級ごとの分担で清掃をしていましたが、学年を超えた縦のつながりで活動する機会を増やすことで「思いやりの気持ち」を醸成したり、下級生が上級生の「かっこいい姿」を感じたりできるようにしています。始めの頃は、慣れないためにうまく指示を出せなかった5・6年生でしたが、「回を重ねるごとに『掃き方はこうするんだよ。』」「『すみずみのごみを取るんだよ。』」などと教える姿が見られるようになりました。1年生も上手に掃除ができるようになってきています。



紫金園見学（3年生）

7月3日（木）に、社会科の学習の一環で赤湯の「紫金園」さんにおじゃましてブドウ栽培の様子を見学してきました。ブドウ農家の方が、1年間でしている仕事やおいしいブドウをつくるための工夫や努力を教えていただきました。樹齢100歳を超えるブドウの木があることや、年間3000キロの収穫があることなど驚きと発見がたくさんありました。



千代田クリーンセンター見学（4年生）

6月24日（火）に、高畠町にある千代田クリーンセンターの見学に出かけました。何気なく捨てている「ごみ」がどのように集められて、処分されるのかを詳しく学習することができました。また、リサイクルできる「資源ごみ」について説明していただき、ペットボトルなど再利用できるものもあることを知ることができました。



7月24・25日は熊野大社の例大祭です

今年も、熊野大社の例大祭が近づいてまいりました。6年生の「総合的な学習の時間」で伝統ある宮内の祭りについて詳しく学習をしています。その一環として、10日（木）に「子供みこし」の各地区の頭取の皆様に子供みこしの歴史や子どもたちに伝えたいことを話していただき、「獅子児保存会」の高橋明会長様から「稚児舞」や「梵天ばよい」の由来について詳しく教えていただいたりする予定です。



以前の懇談の場で、高橋会長様から「獅子児」として梵天ばよいに参加する子どもが減少しているという話も伺っています。「地域の伝統行事は人から人へ伝えていくものです。地域の皆さんの協力なしでは難しいので、ぜひご理解いただきご協力を賜りたいと切に願っている。」とおっしゃっていました。

学校では、24日から夏季休業を開始して、子どもを地域に返し、子どもたちには、地域の一員として例大祭に関わってもらいたいと考えています。24日は、6年生が宮神會様の協力を得て「万燈神輿」を担がせていただきます。25日の子供みこしは、子供会育成会が中心になって運営されると思われますが、進んで参加するようお声掛けをお願いいたします。

また、獅子児の活動については、公民館に申し込みいただければ参加が可能ということですので、男子児童限定とはなりますが伝統ある「梵天ばよい」を体験してみてはいかがでしょうか。